

ようじえんだより 2017年度10月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目 253 番地
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

10月主題『うごく』

主題聖句：「アブラムは、主の言葉に従って旅立った」創世記 12 章 4 節

☆ 0～2歳児：見えない神様の存在を感じ、共に礼拝する。リズムに合わせて体を動かすことを喜ぶ。秋の自然の中でのびのびと外遊びを楽しむ。

☆ 3～5歳児：神様のくださっている力と知恵を合わせて、共に過ごす。生活や遊びの中で、自分の気持ちや考えを表現し、友だちや保育者と伝え合う喜びを味わう。いろいろな遊びの中で、身体を十分に動かして楽しむ。気候の変化を身体で感じながら、衣服の着脱や休息の調整を

日々の歩みを積み重ねて歴史をつくる

十日町幼稚園を生み出した「宗教法人日本キリスト教団十日町教会」は、10月23日で創立100年を迎えます。前日の10月22日(日)には記念礼拝のために前園長の新井純先生が久しぶりに十日町にきてくださいます。雪深い十日町で異国の宗教であるキリスト教会を設立することは大変だったと思います。私は十日町教会の第十代牧師となりますが、歴代牧師のほとんどは雪国の人ではありません。しかしそれでも教会を作り、維持できたのは、その地に住む人たちのお支えがあったからです。

今月の主題聖句に出てくるアブラムという人物は、別名アブラハムと言い、ユダヤ教・イスラム教・キリスト教の信仰の祖と言われます。彼は75歳で見知らぬ土地に行きなさいと言われ、ただ神様を信じて歩きました。苦難や別れも多々経験しながら、日々様々な支えを得ながら歩む彼の姿は現代に生きる私たちの姿と同じです。

子どもたちの成長を感じる時

保育園は子どもたちが初めて出会う「社

会」と言われます。初めて十日町幼稚園に来た日は多くの子どもたちが不安に駆られ、涙を流します。しかし保育者の愛情を受けながら涙は止まり、そして園内を動いて冒険し、遊びを通して、彼ら彼女らは目に見えてたくましく成長していきます。

私自身、娘が一人いますが、なかなか初めての場所になじめない彼女にイライラした時期がありました。しかし園の行事で喜びに満たされている表情を見た時に、「あの日泣いていたのに、大きくなった」と思えたものです。成長するには、それぞれの過程やペースがあることを知りました。

10月はファミリーデー(運動会)が開催されます。子どもたちは今からその日を楽しみにしています。乳幼児期は、子どもたちのワクワクする気持ちや喜びを大きくして、やる気や好奇心を育むことが大切になります。大人はどうしても周りと比較して、「きちんと出来ているか」という視点になりがちですが、まずは子どもたちの表情がイキイキしているか、喜んでいるかに注目してみてください。 園長：久保田愛策

年間主題『愛されて育つ』

主題聖句：あなたがたは神に愛されている子どもです
新約聖書 エフェソの信徒への手紙 5章1節